

# 平成26年度事業報告

## I. 総括

本会は、創立して90周年が経過し、100周年に向けた新たな出発の年度を迎えた。

「スポーツ立県あきた」宣言の趣旨を踏まえ、競技力の向上によるスポーツ王国秋田の復活と生涯を通じた豊かなスポーツライフづくりを目指して各種事業を積極・効果的に推進した。

競技スポーツ関係では、新たに中村和雄氏をゼネラルアドバイザーとして迎え、主に指導者の意識改革と高等学校強化拠点校の激励に取り組んだが、天皇杯は過去最低の42位と低迷した。

平成22年度に開始した高等学校強化拠点校の指定期間が満了となることから、これまでの成果等を踏まえながら、抜本的な制度の見直しを行った。

生涯スポーツ関係では、チャレンジデーへの参加促進を図った結果、前年度を上回る23市町村が参加し、27年度は全国初となる全市町村参加が決定した。

また、日韓青少年スポーツ交流事業（夏季）では、韓国選手団210名を受入、県内の小中学生とスポーツを中心とした交流を通じて友好と親善を深めた。

加盟競技団体における会計処理が適正に行われるよう、専門家による講演と経理事務処理の共通ルールに関する経理事務研修会を開催した。

## II. 事業内容

### 1. 競技スポーツ事業

【5,281千円】

#### (1) 第65回県民体育大会の開催

42競技 7,741名が参加

### 2. スポーツの競技力向上及び普及等に関する事業

【103,422千円】

#### (1) 競技力向上対策事業

##### ① 国体・東北ブロック大会派遣

ア 第41回東北総合体育大会（福島県）[8月22日～24日（主会期）]

エントリー数 36競技 774名が参加

イ 第69回国民体育大会本大会（長崎県）[10月12日～22日（本大会）]

エントリー数 34競技 398名が参加

[結果] 天皇杯42位（769.0点） 皇后杯40位（420.0点）

\*第69回国民体育大会選手団懇談会の実施 [11月13日]

ウ 第70回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会（群馬県）

[スケート 平成27年1月28日～2月2日]

エントリー数 1競技 16名が参加

[結果] 天皇杯29位（20.0点） 皇后杯22位（10.0点）

エ 第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会（群馬県）

[スキー 平成27年2月20日～23日]

エントリー数 1競技 76名が参加

[結果] 天皇杯4位（139.0点） 皇后杯2位（48.0点）

○冬季大会総合成績 [結果]

天皇杯6位（150.0点） 皇后杯11位（58.0点）

- ② 国体の天皇杯順位を上げるための取組  
決起集会の実施 [5月27日]  
中村和雄氏をゼネラルアドバイザーに委嘱、各競技の激励訪問 (延べ104回)
- ③ 秋田県高等学校強化拠点校制度の推進  
16競技、拠点校15校  
拠点校の視察・激励を実施、研修会の実施 [7月3日]
- ④ テクニカルアドバイザー等の活用  
テクニカルアドバイザー (11名) ジュニア育成アドバイザー (2名)
- ⑤ 秋田県中学生強化選手事業の推進  
選手の指定 6月29日 20競技 113名  
11月29日 10競技 39名  
資質・競技力向上研修 (フィジカルトレーニング、宿泊研修、講演会等) の実施  
[9月20日～21日、平成27年1月11日～12日、3月21日]
- ⑥ 社会人選手・指導者の確保  
大学卒業者等の就職意向調査の実施
- ⑦ スポーツ医・科学の活用  
ア 国体選手・指導者のメディカルチェック及びサポート  
メディカルチェック (身体検査・採血検査) [6月29日、11月29日]  
イ 国体への帯同ドクターの派遣 (本大会4名、冬季大会2名)  
ウ ドーピング防止講習会の開催 [9月4日]

## (2) 普及啓発・広報事業

- ① 機関誌「スポーツ秋田」 (3回 9月、12月、平成27年3月 各2,000部)
- ② 「スポーツ行事予定」のホームページによる情報発信
- ③ 「スポーツ立県あきた応援事業」として「世界へ羽ばたけ!秋田のスポーツ講演会」を実施 [6月20日]
- ④ 「県体協なんでも目安箱」の設置

## (3) スポーツ普及推進事業

加盟団体が実施したスポーツ事業に対し助成 (地域団体等 28件)

## (4) スポーツ表彰・顕彰事業

- ① 秋田県スポーツ賞表彰 [平成27年2月26日]  
功労賞8名、栄誉賞2名、生涯スポーツ賞個人3名、国際奨励賞3名、  
優秀指導者賞1名、栄光賞個人35名・団体13団体、奨励賞個人14名
- ② 人見スポーツ賞表彰 [平成27年3月13日]  
個人の部 米澤 圭 (レスリング競技)  
団体の部 秋田工業高校駅伝チーム (第65回全国高等学校駅伝競走大会 男子)
- ③ 畠沢国体賞表彰 [平成27年3月13日]  
個人の部 櫻庭功大 (レスリング競技)  
団体の部 秋田県成年女子バスケットボールチーム
- ④ 辻ジュニアスポーツ大賞表彰 [平成27年3月13日]  
個人の部 宮崎敬太 (スキー競技)

(5) 人見スポーツ傷害基金事業

① 傷害防止対策事業

啓発ポスター、チラシの作成

② 死亡弔慰金の給付 該当なし

(6) 共同主催及び後援事業

共同主催 2件

後援 102件

3. 生涯スポーツ振興事業

【84,234千円】

(1) 総合型地域スポーツクラブ育成事業

① 総合型クラブの創設等の支援

創設支援クラブ 2、自立支援クラブ 21

② 総合型クラブ連絡協議会事業

ア 総合型クラブ連絡協議会運営委員会の開催

[4回開催、会場：スポーツ科学センター]

イ 総合型クラブ地区交流会の開催

県南地区クラブ交流会：10月25日 参加者 86名

県央地区クラブ交流会：10月26日、参加者110名

県北地区クラブ交流会：11月 2日、参加者130名

ウ 総合型クラブ全県交流大会の開催 [11月15日 湯沢市 参加者108名]

※ チャレンジデーへの参加促進

5月28日 12市9町2村、23自治体で実施 総参加者数 418,840名

(2) スポーツ指導者養成事業

① 指導者養成講習会 [弓道競技]

② 指導者研修会

[6月15日、秋田市 参加者101名]

[11月16日、秋田市 参加者113名]

(3) スポーツ少年団交流大会事業

① 交流大会

ア 第51回秋田県スポーツ少年大会 (由利本荘市、8月2日～4日)

イ 第37回秋田県スポーツ少年団大会 (各地、6月～平成29年3月、8競技)

ウ 東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 (3県、7月～3月、4競技)

② リーダー養成 (随時開催)

ア リーダー総会 (秋田市、5月15日、指導者4名、団員9名)

イ ジュニアリーダースクール (由利本荘市、8月2日～4日、102名)

ウ リーダー研修会 (秋田市、平成27年2月8日、指導者3名、団員9名)

エ リーダーのつどい (秋田市、平成27年3月21日、指導者7名、団員12名)

③ 青少年海外交流事業

ア スポーツ少年団日独スポーツ交流事業

[受入：8月2日～6日 羽後町 9名] [派遣：8月1日～18日 3名]

イ 日韓青少年スポーツ交流事業（夏季）

[受入：8月16日～22日 秋田市・潟上市 秋田県213名・韓国210名  
(サッカー・バレーボール・バスケットボール・卓球・バドミントン)]

[派遣：8月16日～22日 全州市 97名 (サッカー・バレーボール)]

④ スポーツ少年団モデル育成事業

鹿角市、にかほ市、湯沢市においてスポーツ交流会を実施

(4) スポーツ少年団指導者育成事業

① 認定員養成講習会 12回 1,388名認定

② 認定員等再研修会 3回 416名が参加

(うち1回73名は、スポーツ少年団指導者研究協議会を兼ねて実施)

③ 育成母集団研修会 (県北、中央、県南)

④ スポーツ少年団顕彰事業

功労者12名、優秀指導者3名、優秀単位団6団、優秀母集団4団

⑤ スポーツ少年団広報普及事業

ア 広報誌「スポーツ少年秋田」 (年2回 各2,880部)

イ「スポーツ少年団の現状」 (年1回 1,100部)

4. 障害者スポーツ振興事業

【生涯スポーツ振興事業費に含む】

(1) 障害者スポーツ大会への協力

総合型地域スポーツクラブが4会場 (比内・由利本荘・秋田・稲川) で運営に協力

(2) 障害者スポーツ関係団体との連携

総合型地域スポーツクラブとの連携モデル事業 (卓球・バレーボールほか) の実施  
(比内・尾崎・稲川の3クラブ)

Ⅲ. 財政基盤の確立

【22,600千円】

1. 賛助会員の募集

①法人 89団体 ②個人 24名

・受取会費 1,089千円

2. 寄付金の募集

①法人 157団体 ②個人 42名

・寄附金総額 12,140千円

②時別寄付金 1,000千円

3. スポーツ活動支援事業 (収益事業会計分)

① 自動販売機事業 (18施設87台設置)

・事業収入 9,213千円

② スポーツ立県キャンペーングッズ販売事業 (ポロシャツ、ステッカー等)

・事業収入 158千円